

目で見える安全活動の取り組みについて

中津川営林署 伊藤和夫

はじめに

我が署では、「災害のない健康で明るい職場環境づくりに努める」を基本方針にして、「活動実施要領」も、みんなで参画し作成するなど、積極的な安全衛生活動に取り組んでいる。

その一環として、今年は、マンガを主体とした“目で見える安全活動”に取り組み、職員の安全意識の高揚に貢献できたと考えられるので、その活用状況について報告する。

1. 視覚に訴えるにはマンガ

(1) 安全マンガ作成

安全衛生活動を実施するには、なるべく堅苦しいものでないよう、しかも、一方的な押し付けにならないよう、さらには、マンネリ化しないように配慮する必要がある。(表1)

そこで、私は、趣味のマンガを生かした安全衛生の4コママンガを作成することにした。

作成は、私が昨年まで勤務していた貯木場の「安全だより」掲載用の安全マンガ作りからスタートし、その後、生産・造林・運転・重機・健康へと広がり、今ではその枚数は82枚にのぼり、営林署全体の仕事を網羅するまでになった。作成内訳は表2のとおりである。

2. 具体的な活用

(1) スライドを安全大会で映写

4コママンガにユーモアを交えたコメントをつけスライド化をして、今年度の安全大会において映写を実施した。図1はスライド化したマンガの一例である。ややもすると堅苦しくなりがちな大会が盛り上がり、職員の安全に対する理解が深まった。

今後も、このスライドを有効に活用していく考えである。

(2) 日めくりカレンダーの作成活用

「安全マンガ」の日めくりカレンダーに編集制作して各現場セット等で、その日の安全衛生に応用的に活用した。写真1は現場の休憩小屋に設置した写真である。

(3) 安全標識への活用

安全標識などにも「安全マンガ」をあしらって、視覚にうったえる内容にした(写真2)。

(4) 各種誌面に掲載

これまでも、名古屋営林支局誌“みどり”に「ドジラクン」として、また、福利厚生課発行の“山の安全”に「ヤマニー」で掲載していただいた。その他、各種安全活動の冊子や資料類にもマンガをあしらうなどして活用している。

3. 効 果

職場の反応を要約すると表3のとおりで、マンガを取り入れた反響はかなりのものがあった。

まとめると、

- (1) 安全には決めてはない。
 - (2) それだけに指導を受ける人の立場にたつて
 - 共感と同意をうる対策
 - 視覚とユーモアに訴える対策
 - むずかしくなく分かりやすい対策
 - 眠気をもよおさない対策
- を採る必要があり、その手段としてマンガは有効である。

お わ り に

これからも、マンガによる安全衛生活動を推進して、災害のない健康で明るい職場づくりに努力していきたい。

表 - 1

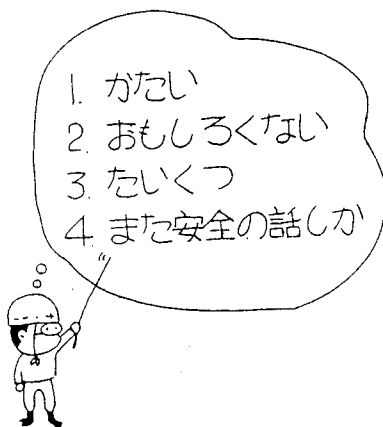




表-2



1.	製品生産	28枚
2.	造林	20枚
3.	運輸車両	20枚
4.	共通	7枚
5.	健康	7枚
	計	82枚

表-3



職場の反応	
1.	わかりやすい
2.	おもしろい
3.	共感をうる
4.	特に部外者が興味を しめした

写真1 休憩所にカレンダー設置

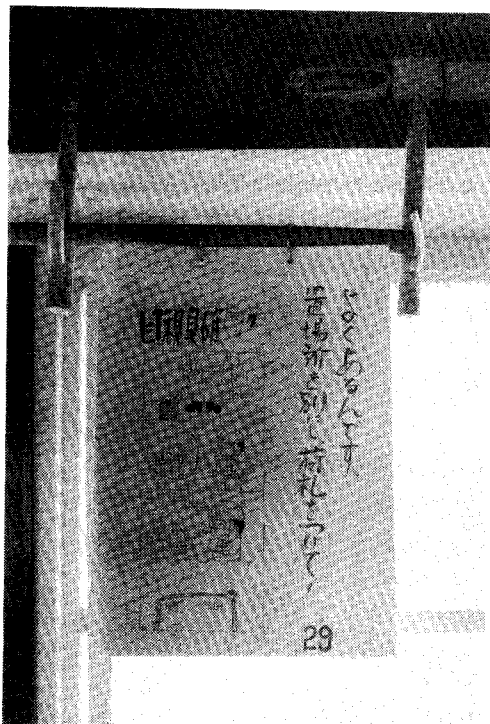


写真2 安全標識に活用

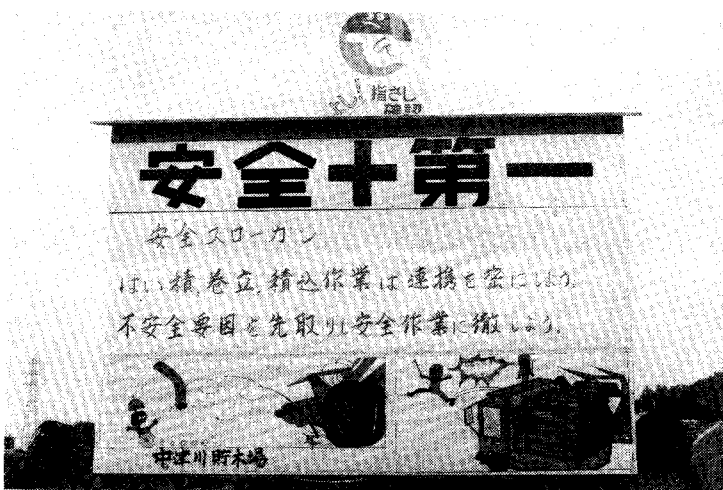


写真2 安全標識に活用

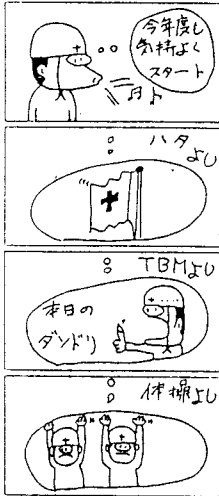


写真2 安全標識に活用



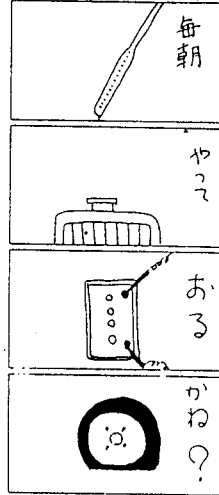
図-1 作成マンガの例

出発進行



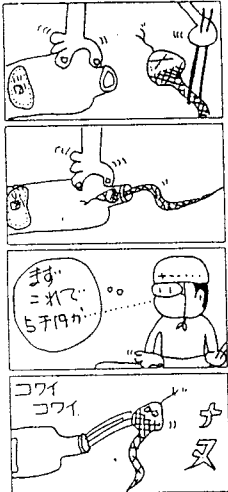
始めなければ
一日も進まぬが……

習慣化



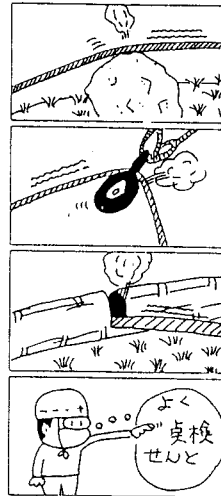
カーヤンだつて
手入れを忘れたらアカン!!

命賭



蝮は切断した首だけでも
噛みつき大怪我したことも……

魔擦現象



アヤギが切れて
運転手にほじめて判る!